



中台中学校 中台だより 第8号



発行 板橋区立中台中学校 発行日 令和7年1月23日

さくら草学びのエリア 中台中学校・中台小学校・若木小学校

＊「中台中学校だより」は中台中学校のホームページにも掲載しています。

3学期スタート！

校長 宮澤 一則

令和7年1月8日（水）に3学期が始まりました。始業式には、どの学年の生徒たちも元気な姿で参加していて安心しました。冬休み中の事故や事件に巻き込まれた情報はなく、しっかりと生活していたようです。保護者の皆様や地域の方々に感謝いたします。

始業式では、巳年にちなんで「へビは脱皮を繰り返しながら、大きく育っていく」ので、みなさんも努力をして、成長する年としてほしいことを話しました。そして、3学期は短いのですが、各学年のまとめの学期となるので、今年の振り返りを行い、今年の目標をもつことも話しました。

学校で行う儀式の際に校歌を歌いますが、毎年3学期の始業式で9年生の指揮者と伴奏者から8年生へと引き継ぎます。今回の9年生が「これからもしっかりと歌いましょう」と最後の挨拶を行い、8年生は「先輩に負けなくらい頑張ります」と抱負を述べていました。しっかりとバトンをつないでくれている様子を見て、大変嬉しく思いました。指揮者や伴奏者だけでなく、いろいろな面で先輩から後輩への引き継ぎがあると思いますが、中台中学校をよりよくするために、一人ひとりが成長するとともに、みんなで協力しながら学校全体をさらに前進させてくれることを願っています。



薬物乱用防止教室！

1月8日（水）の始業式の後に、7・8年生を対象として「薬物乱用防止教室」を開催しました。講師は池袋の「ライフサポートクリニック」で勤務している精神保健福祉士である北條 正順 先生です。北條先生からは、薬物の種類や薬物の恐ろしさなどをスライドや動画を使って教えていただきました。薬物乱用というと、大麻やコカインという麻薬を連想しますが、薬は医師から処方されたものや薬局で購入したものを正しく使わないことも含まれるということを学びました。麻薬である大麻等も、「大麻グミ」などと名称を変えたり、「痩せる薬」などとニセの効能を示したりして、中学生にも近づいてきています。ネットでも容易に購入できることもあり、大変危険な状況にあります。また、最近は市販の風邪薬等を一度に大量に摂取する「オーバードーズ」も耳にします。この「オーバードーズ」や未成年の飲酒も薬物乱用に該当すると聞き、改めて注意するのを感じました。薬物には、気分を高揚させる作用のあるもの、やる気をなくさせる作用のあるものがあり、幻覚が生じて、自分や他人を傷つけてしまうこと、さらには自らの命を絶ってしまうこともあるそうです。今回のお話を聞いて、自分の身は自分で守るために、「危険なことには近づかない」、「誘われたらきっぱりと断る」勇気が必要だと強く感じました。生徒のみなさんたちも普段の生活に近づいている薬物の危険から、しっかりと自分の身を守るよう心掛けてください。



校内書き初め展！

1月8日（水）から校内書き初め展が始まりました。学校公開で、ご覧いただいたと思いますが、どの学年も力作揃いで、一生懸命書いていた姿が目に見えます。7年生は3階フロア、8年生は2階フロア、9年生は1階多目的室に展示してありますが、年の初めに、気持ちを落ち着けて書き初めに向き合うという日本の伝統は残していきたいものです。集中して書道を行うことは、日常のざわめきから別の空間に入ったようで、精神的にも清らかになった気がします。

なお、優秀作品として選ばれたものは、1月21日（火）から板橋美術館で行われる板橋区美術展・書き初め展で展示されます。各中学校の書き初めと美術の代表作品が集まりますので、ぜひご覧いただければと思います。

学校公開・学級活動の日！

1月18日（土）に学校公開を開催しました。この日は板橋区内の小中学校で「学級活動の日」となっており、どの学校でも学級活動を授業公開にあてています。中台中学校では、1・2時間目を通常の授業とし、3時間目に「学級活動」を実施しました。7年生の国語の授業では、百人一首を行い、大変盛り上がっていました。上の句だけで札をとる生徒もいるなど、すでに準備をしてきた様子もうかがえました。ほかの授業でも生徒たちはしっかりと学びに向き合っていました。

3時間目は「学級活動」の時間です。全学年でルールについて考えることをテーマに進め、「なぜルールが必要なのか？」「よりよい生活を送るにはどのようなルールが必要か？」話し合いました。7年生は、「ルームシェア（共同生活）をするときのルールを考えよう！」、8年生は「理想的な高校をつくるための校則を考えよう！」、9年生は「板橋区の新しい条例を考えよう！」という切り口からルールについて考えました。7年生では、3～4人でルームシェアを行います。生活環境として3～4LDK、風呂とトイレは共同などの条件の中で、みんなが過ごしやすい環境を考えながら、ルールを決めていきました。8年生では、オーストラリアには「カンガルーを見つめてはいけない！」という条例（カンガルーと目が合うと驚いて道路に飛び出し、事故につながるため）を紹介しながら、ルールの意味を考え、自分たちで理想とする高校像をイメージして校則を考えていました。9年生は「足立区自転車の安全利用に関する条例」（自転車には鍵をかけなければいけないなど）を例とし、板橋区をよくするために必要な条例を考えました。どの学年も自分の考えを素直に発表し、ルールについてじっくり考える時間となりました。

人と人が一緒に生活していくには、ルールが必要でしょう。しかし、ルールだけではなく、マナーやエチケットなど周囲を気遣う気持ちも大切だと思います。